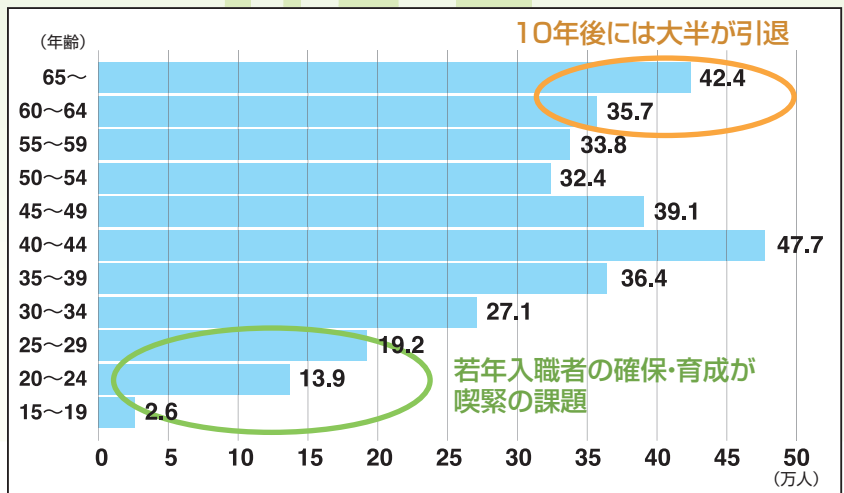


表1 就業者数 (データ2017)

全産業就業者数		6542万人
建設産業就業者数		497万人 (7.6%)
内 訳	総務・管理	98万人 19.8%
	営業 その他	37万人 7.4%
	技術者	31万人 6.2%
	技能労働者	331万人 66.6%

出典：総務省「労働力調査」を元に国土交通省で算出

表2 高齢者の大量離職の見通し(中長期的な担い手確保の必要性)



出典：総務省「労働力調査」を元に国土交通省で算出

は、毎年5月の筆記試験、7月の技能試験を受ける生徒がほとんどです。第一種電気工事士は実務経験5年が必要です。

市川 2級土木施工管理技士の場合、高校時代に学科試験を受けて、入社してから数年で実地試験を受けて、入社がほとんどです。

濱崎 お話を聞いていて、うらやましいです。解体工事業は、学校に専門課程がありません。当社には技術系の学校の卒業生は1人もいません。会社に入ってから、いかに育てるかが一番の課題です。建設業では、資格を持つていないと公共工事の入札に参加できませんから、会社の負担で専門学校で学ばせて、1級の資格を取らせています。10年前から取り組んでいます。おかげさまで1級土木施工管理技士9人、1級建築施工管理技士9人、1級建築士1人がいます。解体工事業の会社で1級の資格取得者が19人いる企業は他に無いと思います。毎年1級に受かっています。直近4年で高卒の新入社員が12人いますが、その上の社員は41歳。30歳代の人を中途採用したいのですが、いくら募集しても来ないですね。

コストを下げ、クレームのない建築が目標になってしまった

市川 建設産業は職種に幅がありま



第一建設株式会社 代表取締役社長 市川 照 さん

企業は矛盾に挑戦しながら、持続可能な成長と発展をめざそう。

す。高度経済成長期後も、建設投資はGDP(国内総生産)の2割を担っていました。現在は、全産業就業者数の7.6%が建設産業就業者数で、建設投資はGDPの9%。建設産業就業者数のうち、技術者が6%、技能工が67%、総務管理と営業を担当する社員は27%を占めています。(表1)

指定学科を卒業した人でないと技術者になるのは大変かもしれません。が、やる気のある人なら、技術者にも技能工にもなれます。一方、キツイ、キタナイという建設産業のイメージに対しては、ITを活用していくべきでしょうか？

鳥居 平成の30年間は、我々設計者にとつては変革の30年でした。昭和という時代は製図台やドラフターという機械を用いて、その出来栄というものが逐次、見える形でモノが設計されていました。しかし平成が始まった前後から、環境は激変し設計にもコンピュータの波が押し寄せました。CADです。建築が設計者の頭の中で発想されるのは変わりませんが、それを現実にと落とし込む過程では、手書きのスケッチではなく、キーボードでの入力と

いう作業に切り替わったのです。つまり傍からはその人間が何をやっているのか見えなくなりました。かつてチームのもとに技術や思想が総体として継承されていた時代から、現代はデータとして断片的に散らばっている技術が任意に選択され恣意的に組み合わせられている時代だとも言えます。今はそれらを改めて再統合しなければいけない時です。

市川 私が入社した1975年当時は、サブコンは手間受け所謂元請けからの材料支給、サブコンの方々の施工費もほぼ決まっています。安定的なおつきあいができる環境で、良い仕事を要求することができました。それが材工共になり、数社から見積もりを取って安い見積もりを出したサブコンに発注するようにになりました。例えば以前はコンクリートの打ちっぱなしにタイルを貼る前には左官屋さんが下地をとるのが当たり前でしたが、コストを下げるためにコンクリートに直にタイルを貼るようになり、左官屋さんの仕事が無くなってきました。良い仕事というよりも、コストを下げて、クレームのない建築を納品するようになりました。

磯谷 静岡電気工業協同組合には、30年前は200社以上が加盟していましたが、現在は120社。その中には後継者がいない会社もあります。